

分野別情報

第5回汚染物質・化学物質専門調査会合同ワーキンググループ議事概要

平成19年7月3日(火) 14:00~16:00

議事概要:

(1) 清涼飲料水に係る化学物質の食品健康影響評価について

1) ベンゼン

・審議の結果、「遺伝毒性発がん性物質であり、耐容一日摂取量(TDI)は設定できない。しかし、WHO飲料水水質ガイドラインの発がんリスクレベル及び我が国の水道水の水質基準を勘案し、実現可能な範囲でできるだけ低く設定することが重要」とされ、評価書(案)を汚染物質専門調査会及び化学物質専門調査会へ報告することとなった。

2) 1,1,2-トリクロロエタン

・審議の結果、3.9 $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/日を耐容一日摂取量(TDI)とし、評価書(案)を汚染物質専門調査会及び化学物質専門調査会へ報告することとなった。

3) 1,1,1-トリクロロエタン

・審議の結果、600 $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/日を耐容一日摂取量(TDI)とし、評価書(案)を汚染物質専門調査会及び化学物質専門調査会へ報告することとなった。

4) トルエン

・審議の結果、223 $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/日を耐容一日摂取量(TDI)とし、評価書(案)を汚染物質専門調査会及び化学物質専門調査会へ報告することとなった。

5) 亜塩素酸及び二酸化塩素について

・審議の結果、継続審議となった。

<参考>

- 1) 染料や合成ゴム、合成洗剤、有機顔料等の合成原料として使われています。主に車の排気ガスから環境中に排出されますが、地下水に侵入すると、容易に揮発しないことが知られています。
- 2) 洗浄剤原料として使用されるトリクロロエチレンの原料や、油脂、ワックス、天然樹脂等の溶剤として使われています。主に大気中に排出されますが、地下水に侵入すると分解されにくいことが知られています。
- 3) 金属の洗浄剤等や代替フロン等の原料に使われていますが、土壌や地下水に浸透した場合、揮発によって失われず、微生物によってゆるやかに分解されます。
- 4) 各種化学物質の原料や、塗料等の溶剤として使われています。排出量の多い化学物質のひとつで、工場からの排出や自動車の排気ガスにより環境中に放出されます。大部分が大気中に存在しますが、水道管の内面の塗装等により、水道水に混入することがあります。
- 5) 水の消毒やいやな臭いや味の除去に使われています。二酸化塩素の水中での分解により、亜塩素酸イオンが生成することが知られています。

〒100-8989 東京都千代田区永田町2-13-10 ブルデンシャルタワー6階 TEL 03-5251-9229 FAX 03-3591-2237

Copyright © 2006 Food Safety Commission. All Right Reserved.

[プライバシーポリシー](#)